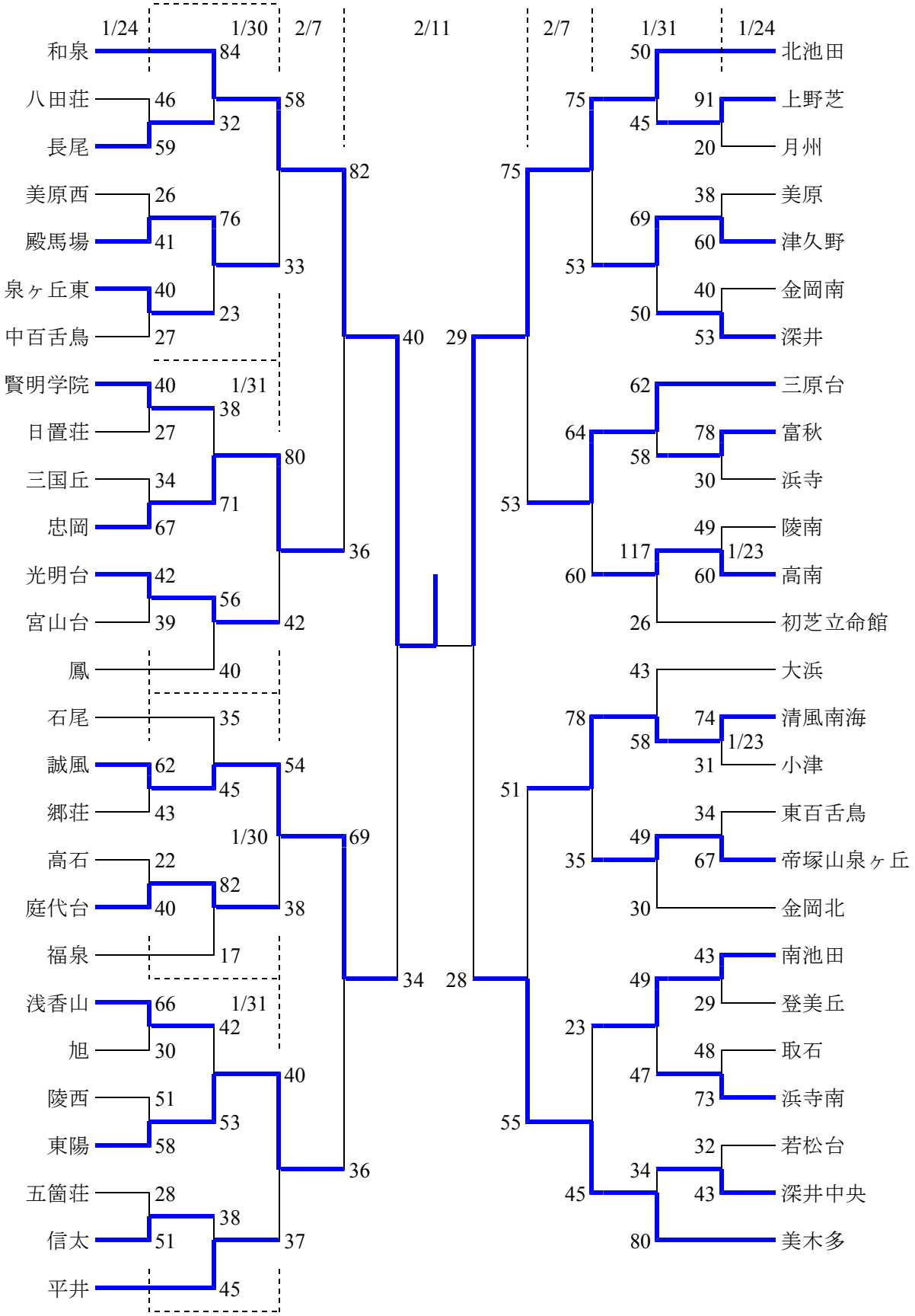
２０１５年度　泉北地区新人大会

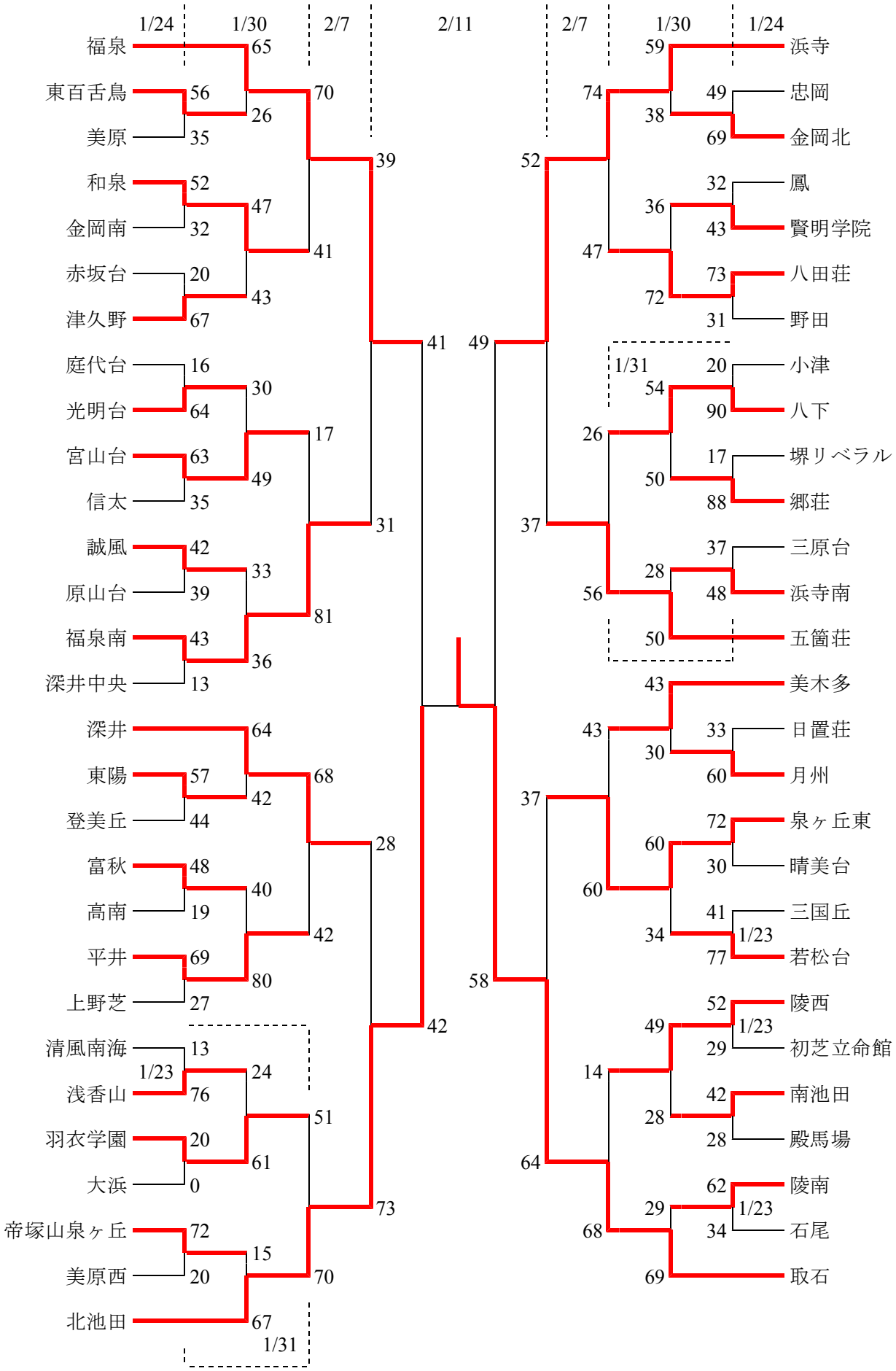
男子の部



和泉　４９－２９　北池田

10	1Q	14
12	2Q	5
17	3Q	4
10	4Q	6

女子の部



北池田　３８－５３　取石

9	1Q	12
8	2Q	10
10	3Q	13
11	4Q	18

男子戦評　和泉④⑤⑥⑦⑭　北池田④⑤⑥⑦⑪

序盤、オフェンスの組み立てに手こずる和泉に対し、リバウンドシュートをがんばった北池田がリードを奪う。流れを変えたい和泉はタイムアウトから、④を中心にオフェンスを組み立て直す。開始早々のリードを北池田が保ち、１０－１４で１Ｑ終了。

２Ｑに入ると、和泉はマッチアップを変更し、北池田のオフェンスリズムを崩す。そこから得意の速攻で加点し、ついに逆転に成功する。流れを取り返したい北池田はタイムアウトでディフェンスを整える。２Ｑ終盤で和泉④にフェイスガードを試み始めたところで前半を終える。

後半に入ると、互いのペースが上がり、攻防が一層激しさを増す。なかなか自分たちの形に持ち込めない北池田に対し、確実にシュートを沈めた和泉が１０連続得点のスコアリングランで、リードを１６点と大きく広げる。

４Ｑでは一進一退の攻防が続くものの、試合の大勢は変わらない。最後まで走り続けた和泉の良さが光るゲームであった。

各チーム、春までに徹底的に各々の課題修正に臨み、泉北地区一丸となり、近畿・全国を目指し切磋琢磨しあいたい。

（木村・岩橋）

女子戦評　北池田④⑤⑦⑧⑮　取石④⑥⑨⑩⑭

試合序盤、取石にミスが続く。その悪い流れに乗じて、北池田が⑧のゴール下、④の３Ｐ、⑮のリバウンドシュートと連続得点を決める。取石は④のドライブから反撃を開始し、⑥のリバウンドシュートや⑨⑭の合わせで得点を重ねる。北池田は取石のプレッシャーをうまくかわしながらシュートを狙うも、ゴール下のシュートを決めきれずに苦しむ。互いにミスが目立った１Ｑは９－１２で終える。

２Ｑは⑥のポストプレイから取石が連続で得点を加える。しかし、その取石⑥が３つ目のファウルを犯してしまい、少しずつ歯車が狂い出す。北池田はいまだシュートを決めきれないながらも食らいつき、１７－２２で前半をしめくくる。まだどちらも決め手に欠く状態で後半を迎えることとなった。

後半開始から取石は⑥をコートに戻す。すると、その⑥が強さを見せ、リバウンドシュートを押し込む。④の３Ｐや⑩から⑭の合わせも効果的に決まり、取石がリズムをつかむ。北池田は３Ｐを中心にオフェンスを組み立てるが、思うように決まらない。それでも、３Ｑ終了間際に北池田⑥が執念でロング３Ｐを決める。３Ｑは取石のゴール下の強さが光った。

４Ｑでは、今度は取石⑭がゴール下で力を発揮する。流れをつかんだ取石は連続得点で北池田を突き放す。北池田は⑥が２本の３Ｐを沈め意地を見せるものの、取石の勢いを止めるまでには至らず、３８－５３で取石が優勝を収めた。

両チームともに課題を修正しつつ、さらなる躍進を期待したい。

（塩井）